

今月の
特集

生涯学習ルームへようこそ!



「そうや、なんかやろう」と思ったら!

生涯学習ルームは、大阪市長から委嘱を受けた生涯学習推進員を中心とした地域の皆さんにより、区内の小学校16校全校で開設されており、たくさんの方が楽しく学んでいます。東淀川区では、55名の生涯学習推進員が活動しています。「学びたい・知りたい・たくさんの人と出会いたい・いつでもいきいきとした自分になりたい」そんなあなたを応援しています。

今回は、東淀川区で生涯学習推進員をしている皆さんにお話を伺いました。

「いつでもどこでも誰でも」をモットーに

25年続く「民踊」をはじめ、コーラス・社交ダンス・気功・絵本の読み聞かせ・体操・語学などの定番から、大人のぬり絵・和紙手芸・子ども詩吟・多様な国の人がふれあう「日本語サロン」などユニークなものまで、さまざまな講座を企画・運営しています。年間を通しての講座だけでなく、単発講座や期間限定講座も実施しています。また、日頃の活動の成果を発表する場として、年1回「生涯学習フェスティバルin東淀川」を開催しています。

たくさんの講座、仲間づくりに最適

生涯学習ルームは、地域課題の解決につながる活動も行っています。ひとり暮らしの高齢者、子育て中のお母さん、引っ越してきて間もない方などを始め、講座が地域の交流の場になることをめざしています。たとえば、絵画の受講生で野外スケッチに出かけたり、コーラスの受講生同士でカラオ

ケに行ったりしますし、誰かが休むと心配して連絡してみるなど、つながりが生まれています。「ソーイング講座」では、子どもが高齢者に針の通し方を教わって、世代間の交流ができました。

人のためだけでなく、自分のためにもなる

推進員は、講座の企画を考え、講師を探し、チラシや回覧板で受講生を募集し、講座が定着するまで見守ります。「面白い!」と思って企画した講座に人が集まらないとへこむこともあります。受講生に喜んでいただき「また、いい講座教えてね」と頼まれると「さあ、次は何をしようかな」と元気が湧いてきます。地域に顔見知りの人が増え、子どもたちには「おばちゃん」と声をかけられたりと生活にハリが出て、気づいたら自分のためにもなっていました。

いつも前向き推進員

生涯学習推進員になるには、各地域から推薦を受け、大阪市の養成講座プログラム(5科目)を受講します。パソコンでチラシをつくったり、人とのコミュニケーションを学んだり、日常生活にも役立つプログラムもあります。推進員はみんな前向きで「何か始めてみたい」人ばかりなので、月1回、各校区の推進員が集まる連絡会では「それ、いいやん」「それ、やってみよ」と情報交換して話が弾みます。

まずは、関心のある講座をのぞいてみませんか?



実際に、講座を受講されている方にもお話を伺いました。

井高野小学校生涯学習ルーム 毛筆講座

60歳過ぎて時間ができたので、子どもの頃から好きだった習字を始めました。月2回ですが、ここ3年余りほとんど休んでいません。みなさんと一緒に学んでいると、ふと女学校時代の感覚がよみがえってくる気がする時もあります。講座の少し前から、先生にみていただくために練習したり、毎年の作品展に出品したりすることが励みになっています。気に入った作品は掛け軸にして娘や孫にプレゼントしています。



高桑 美代子さん

小松小学校生涯学習ルーム 和太鼓童心

小学校5年生から和太鼓を始めて4年目になります。他のどの楽器でも出ない和太鼓の音がすごく好きです。大きい太鼓なら低い音、小さい太鼓は高い音、音程がないので太鼓によってたたき方の強弱をつけるなど、たたき分けをしています。力強くたたくことも気持ちがよく、みんなでするので一体感もあります。たたき終わった後に、みんなに拍手をもらえるのがすごく嬉しいです。



大西 優菜さん

東淡路小学校生涯学習ルーム ZUMBA

新しくズンバを始めるというお話を聞いて、私もやってみたいと思い参加しました。リズムがアップテンポでノリがよく、自然と体が動いて楽しい気持ちになります。すごく運動したという実感があるので、日頃の運動不足やストレスがとても解消され、充実感があります。ズンバは振付を覚えるとかではなく、先生の動きを見て、その場の楽しいノリで自然と体を動かせるので、ダンスの経験がなくても絶対楽しめると思います。



田中 有花さん

【問合せ】子育て・教育 2階25番 電話4809-9850



東淀川区では、この他にもたくさんの講座が開設されています。詳しい講座については、東淀川区のホームページをご覧ください。

「やってみたい!」がきっと見つかる講座一覧▶



区長からひとこと

生涯学習の素晴らしさ

生涯学習に取り組んでこられた皆さんが、その成果を発表する「生涯学習フェスティバル」は1年に1度あります。昨年度は、11月26日に区民ホール等で「舞台・展示・体験」が行われました。

舞台では、区内の各地域から音楽や踊りが披露されます。音楽と言っても、大正琴・尺八・三線の演奏、民謡・コーラス・ゴスペルと多岐にわたり、なんと、こども詩吟もありました。踊りでも、社交ダンス・フラダンス・リズムダンス・バレエ・太極拳があり、日々の練習の成果が見事に披露されました。

また、展示では、絵画・手芸・書道・生け花・フラワーアレンジメント・押し花・パッチワーク・陶芸・寄せ植え・塗り絵など枚挙にいとまがありません。私が感嘆の声をあげたのは、野原で4羽の雀がえさをついばんでいる姿を描いた作品です。精緻でそれでいてどこことなく牧歌的で食い入るように鑑賞させていただきました。別の部屋では、手芸・押し花・パッチワーク・ボディジュエリーなどの体験コーナーもありました。

体の表現、絵や文字等から伝わる思いが観る者の心を打ちます。それは、皆さんがこの日のためにかけてきた努力の結晶だからこそ、感動を生みます。そして、生涯学習は、作品の発表だけでなく、学習を通して地域のコミュニティが作られていくことに大きな意味があります。

区役所は、今後も地域の生涯学習活動を応援していき、東淀川区のまちづくりに努めてまいります。今年度の「生涯学習フェスティバル」は、11月18日に行われる予定です。今から楽しみですね!



東淀川区長 北岡 均

広告掲載枠